

～相模原ライオンズクラブに対し防衛講話を実施～



神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 夏井 隆）は、12月8日（日）ラポール千寿閣（相模原市）において相模原ライオンズクラブに対し防衛講話を実施した。本講話は、「自衛隊をもっと知ってもらいたい」という自衛隊側の所要と、相模原ライオンズクラブから「国防という重要な任務を持つ、自衛隊の職業を知りたい」との要望から実現した。

参加者は、相模原ライオンズクラブの会員及びその家族中高生を含む49名が加した。

講話では、「日本を取り巻く環境とその中で海洋における防衛等について」と題し、メディアからの情報では得られない海上自衛隊の活動状況など多くの写真を使い、防衛態勢等について中高生にも分かり易い説明が大変好評であった。

特に、自衛隊の組織は、あらゆる活動に対応できる能力を保持するための多種多様な任務・職種があり、一人ひとりの適性にあつた職種が多くあることに参加者は驚いていた。

講話終了後の意見交換会では、会員及び中高生から「非常に勉強になった」「次回も是非実施してほしい」等の意見を聞くことができた。

神奈川地方協力本部では、「今後も神奈川県家族会の方々のご理解・ご協力をいただきながら募集を始め諸活動を積極的に実施していきたい」としている。

合格者家族懇談会について



体験談等を発表する支援隊員

<日吉1士（左） 齋藤2士（中） 遠藤1士（右）>



体験談等を発表する家族会員

<吉田様（左） 石原様（中） 長谷川様（右）>

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、令和元年12月8日（日）小田原市米町公民館において、一般曹候補生、自衛官候補生合格者及びそのご家族を対象とした懇談会を実施した。

この懇談会については、昨年度から実施している行事で、対象者の家族を含めて親交を深めるとともに、入隊への不安を取り除き信頼感の醸成を図ることを目的としたものである。

当日は、合格者8名、ご家族8名の計16名の方に参加していただいた。

はじめに広報官により「着隊までの手続き等に関する事項」「入隊後の教育訓練、部隊配置に関する事項」及び「着隊までに注意すべき事項」について説明を実施した後、平成

31年4月に小田原地区から入隊した齋藤浩颯^{さいとうたけあき}2等海士（護衛艦「おおなみ」所属、遠藤^{えん}藤樹^{とうらぎ}1等陸士（第34普通科連隊所属）、日吉健悟^{ひよしけんご}1等陸士（第12対戦車中隊所属）の3名により、試験合格から部隊配置までの心情や現在までの体験談を話していただく

とともに、小田原地区家族会会員石原様、吉田様、長谷川様の3名による、保護者としてご子息を入隊させた時の心情や入隊後の成長などを話していただいた。

参加していただいた合格者、ご家族からは「息子が自衛隊に合格して、自衛隊の活動等に関して知る機会がなく不安でしたが、懇談会に参加して色々とお話を聞く事ができて良かった」「入隊から職種・勤務地が決定するまでの流れが聞けて良かった」など今後の募集活動につながる意見を聞くことができた。

また、支援隊員の各部隊における活躍と成長した姿に地域事務所一同、募集活動の成果を感じるとともに、今後の勤務の励みとなった。

小田原地域事務所は「今後も地域に密着した募集活動を各協力者、各部隊との連携を図りながら防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集につなげていきたい」としている。